



国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案




【実践者】

授業者氏名	谷口 佐保	学校名	札幌市立琴似小学校
教科（科目）・領域	道徳	対象学年（人数）	1年 1組（28名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年 2月21日～3月1日（2時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：せかいは ひろいね「せかいのこどもたち」					
2. 実施する教科・領域： 道徳 内容項目「主として集団や社会との関わりに関する事」 国際理解、国際親善	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	Bグローバル社会	相互依存	情報化		
	C地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： ・スリランカの動物や人々の生活を映像で見たり、生活・学校用品に触れたりする経験を通して、スリランカに興味をもたせることをきっかけに、様々な国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	スリランカの動物や人々の衣服や食事、学校生活について知る。			
	②思考力、判断力、表現力等	スリランカと日本の文化について、似ているところと異なるところについて考え、指摘することができる。			
	③学びに向かう力、人間性等	スリランカの生活や文化について学ぶことにより、様々な国について興味をもって調べようとする。			
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 「主として集団や社会との関わりに関する事」として、これからのグローバル化に対応する素地を培うために「他国の人々や文化に親しむこと」が内容構成として位置づけられている。1年生にとって、「国際理解、国際親善」の学習は、今回が初めてである。学習の導入として、現地の動物や人々の生活について知ったり、実際に現地の物に触れたり疑似体験をしたりすることで、様々な国の人々や文化に親しもうとする気持ちが生まれるようにしたい。				
	【単元の意義】 単元を通して、他国に興味をもつことをねらいとして行う。1時間目は、動物クイズや人々の生活の映像を通して、スリランカに興味をもたせる。2時間目はスリランカの生活用品や学校用具などを触ったり使ったりして更に興味をもたせ、後半には、様々な国へと目を向けさせ、広がりをもたせる。				
	【児童/生徒観】 自分の住んでいる町の場所も地図で指さすことが難しい1年生だが、小さいからこそ垣根をもつことなく、今から様々な国に興味をもつことができるようにしたい。授業後には、「いろいろな国について、もっと知りたい!」という思いが生まれることを願っている。				
	【指導観】 現地の動物や人々の生活の様子を、映像で見るだけでなく、楽器を鳴らしたり、衣装を着たり、紅茶を飲んだりすることで、「なんだか楽しい!」と思う気持ちも大事にしたい。そして、互いに「似ている」「似ていない」の気付きを大事にしつつ、終末は「似ていない」ことも含め、異文化に興味をもつ気持ちを育てたい。また、学んだこと全てがスリランカの文化といった考えにならないよう、あくまでも、ほんの一部を紹介したのであって、まだまだ未知の部分があることも伝えたい。				

7. 単元計画 (全2時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> スリランカの動物クイズや、人々の生活の写真から日本と「似てる」「似ていない」を見つける活動を通して、人々や文化に親しもうとする心情を育てる。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">スリランカのこと、知りたいな！</div> <ul style="list-style-type: none"> クイズ「かくれている動物なーんだ？」 ○で囲まれている、動物当てを行う。  クイズを通して、いろいろな動物が住んでいることにいることに気付く。 見つけよう「似ている」「似ていない」 スリランカの小学校、家庭の写真から、自分たちの生活と「似ている」「似ていない」ところを見つけ、シートに印をつける。 見つけたことを、全体で交流し合う。 日本と「似ていない」ところもあるが、自分たちと同じように、学校で勉強したり、家族と暮らしたりしている「似ている」ところもあることに気付く。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">スリランカのこと、少しわかったよ。もっと知りたいな！</div>	世界地図 写真 鳥、牛、孔雀、象 写真 小学校の教室 子どもの学習ノート 家族 カレー
2	<ul style="list-style-type: none"> 前時で興味をもったスリランカの物に触れたり疑似体験したりして生活や文化に触れ、他国の写真を見ることを通して、スリランカに限らず海外の生活にも関心をもたせる。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">スリランカのこと、もっと知りたいな！</div> <ul style="list-style-type: none"> 「衣」「食」「学校生活」にかかわる生活・学校用品に触れたり、使ってみたりして、さらにスリランカの文化に興味をもたせる。 教科書を見て、どんな国の名前を知っているか交流する。  アメリカ、ネパール、チリ、トーゴ、フィンランドなど、他国の国の写真を見て、「似ている」「似ていない」を見つける。 学習して感じたことを、学校の人に読んでもらえるよう、シートに記す。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">スリランカのこと、また少し分かったよ。他の国も、「似ている」と「似ていない」があったよ！いろいろな国のこと、もっと知りたいな！</div>	世界地図 「衣」 サリー・制服 男子ズボン 民族衣を着た人々の写真など 「食」 紅茶、カレー 写真など 「学校」 学習帳、楽器、遊び道具など 道徳教科書 光村図書1年 「せかいはひろいね」 せかいの子どもたち

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料(教材)
導入 (5分) (10分)	<p>・「冬休み、スリランカっていう国に行ってきたよ。スリランカの大きさやあいさつ言葉はね・・・。」</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> スリランカのこと、知りたいな! </div> <p>『動物』のことについて、調べてみよう。」 クイズ「かくれている動物なーんだ?」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 20px;"> 猿だ!こんなところに? </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 象なんだ。かわいいね! </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; text-align: center;"> スリランカにいる『動物』のこと、少し分かったよ! </div>	<p>日本からスリランカまでの軌跡を提示。北海道の大きさと比較できる地図を掲示。動物部分を隠した写真提示。難易度を上げ、意欲喚起させたい。象、孔雀など、スリランカならではのエピソードについても触れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図 ・スリランカ地図・国旗 ・北海道地図 ・スリランカの挨拶語 ・動物クイズ (パワーポイント) 鳥、牛、孔雀、象 <p>学習シート内の写真</p>
展開 (20分)	<p>・「次は、『人』や『もの』について調べてみよう。」</p> <p>見つけよう「じぶんのせいかつと、にてる?にいてない?」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> カウスティガーくんの1日 </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>犬をかつているのかな? みんなわらってる。はだしだね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;"> 学校で、勉強しているところが似ているね! 机の色が違うよ。 </div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>カレーだ! みんなと同じだよ。ごはんは似てるけど、ルーがちょっと違うかな?</p> </div> </div>	<p>学習シート配布。「似ている」「似ていない」の他、中間の思いも取り上げる。「似ている」「似ていない」を、板書で位置づける。「似ていない」ことの気付きを大事にしながらも、「似ていない」ことが間違っていると、とらえることがないようにかわる。</p>	<p>家庭訪問先の子も小学校教室内 ごちそうになったカレー</p>
まとめ (5分) (5分)	<p>じぶんの生活と似ているところも、似ていないところも、いろいろ見つけることができたね!</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; text-align: center;"> スリランカにいる『人』と『もの』のこと、少し分かったよ! </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> スリランカのこと、少し分かったよ。もっと知りたいな! </div> <p>・「振り返りを書こう。」 ・「次の時間は、もっとスリランカのものに触れてみようね。」</p>	<p>「似ている」と感じたことも、「似ていない」と感じたことも、他国に興味をもつこととして、とらえたい。</p> <p>次時へ意欲をもたせるような実物を見せる。</p>	

9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・スリランカの動物クイズをしたり、生活用品や学校用品を見たり疑似体験したりする活動を通して、スリランカに興味をもち、様々な国の人々や文化に親しもうとする気持ちを生むことができたか。学習での発言、シートなどにより評価する。
10. 学習方法および外部との連携	<p>本校の栄養士が、1月（末）に給食でスリランカカレーをメニューとして取り入れてくれた。毎日出ている給食の説明メッセージを、子どもたちに読むことで、興味関心につながれると考える。</p>
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	<p>集めた教材を、校内の教材室に置き、いつでも使用してもらえるよう啓発する。最終的に完成した指導案を共有できるよう、フォルダにおさめる。懇談会で、今回の取組を伝える。</p>

【自己評価】

12. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・動物クイズは、盛り上がるが、時間も予定より多く要してしまった。 ・カウスティガーくんの1日「似ている?」「似ていない?」の学習シートは、子どもの反応を予測していたものの、一つのものでも、子どもによって似ていると感じていれば似ていない、と感じる子もいた。板書にまとめようとするのが、かえって子どもの思考をとめてしまった場面があった。また、日本と似ているなのか、自分たちの生活と似ているのかで、捉え方も異なった。1年生という発達段階をより加味して授業づくりをするべきであった。
13. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・「似ている?」「似ていない?」の部分を重点的に学習するねらいであるため、導入部分は、テンポよく行う。ただ一方で、象、孔雀については、スリランカならではのエピソードも加えて、さらに興味をもたせたい。 ・「似ている?」「似ていない?」の箇所を具体的に記述する学習活動ではなく、○印や□印のみをつけ、見つけたことを価値づける学習にする。そのことが、より写真を見ることにつながる。 ・「日本」ではなく、「自分の生活」との比較とする。
14. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・スリランカへの興味が非常に沸いたようで、1時間目では、大変意欲的に学習する姿が見られた。2時間目でも引き続き、サリーを着たり、学習帳を眺めたり、楽器を鳴らしたりと、大喜びで学習していた。他の学級でも授業を行ったが、休み時間にスリランカグッズに触れに、ひっきりなしに子どもが集まってきた。あいさつ言葉である「アーユーボーワン」は、しばらく口にするなど、スリランカの人や文化について、興味をもつ様子が見られた。
15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	<p>児童の学習シートから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がいこくにいったことがないので、スリランカにいつか行ってみたいです。 ・アーユーボーワンを、みないでもじぶんでかけるようになりたいです。 ・カレーライスがおいしそう。たべてみたいです。カウスティガーくんとともだちになりたいよ。 ・にているところも、にていないところもいっぱいみつけれましたよ。 ・がいこくの人とたくさんはなせるようになりたい。えいごをもっとれんしゅうしたいよ。 ・こんどは、ちがうくにのことをべんきょうしたいよ。 ・スリランカの小学校の人も、さんすうのべんきょうがおなじだった。

16. 授業者による 自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを達成することができたように思う。どの子ども、興奮気味に学習し、スリランカの人々や生活に興味をもって、学習する姿が見られた。ただ、どこに重点をおいて学習するのか、資料を用意するにも、細部にわたって児童の反応を予測して作成するなどの大切さを、改めて感じた。年度末の懇談会では、保護者の方から、「授業の後、世界地図を眺めるようになりました。」「飛行機に乗ることが嫌だと言っていたのに、『スリランカに行ってみたい』と言いました。」「狭い世界ではなく、広い世界に目を向けるような授業をしてくださり、ありがとうございました。」など、授業について大変多くの賛同をいただいた。そういった意味でも、子どものみならず、大人への啓発にもつながったと思う。小さな1年生だからこそ、国との垣根をとりはらい、海外に興味をもたせることは、良いことであると思った。 ・資料の写真に、裸足の子どもたちがうつっている。裸足であることに驚く児童もいたが、スリランカの人にとっては、普段の生活の様子である。ただ、家の前の敷地内では裸足で、門を出ると靴を履き、学校でも靴を履いて生活することなどを、伝えると良いと思う。スリランカで生活されていたJICAの方から教えていただいたことであり、子どもたちには誤解のないような正しい知識を伝えることは、大事だと改めて思った。 ・今回の授業づくりで、大津先生、橋詰先生、堀先生、参加者の皆さまから多くのご助言、ご指導をいただいた。出発前からの研修を含めると、長きにわたる授業づくりであり、生みの大変さもあったが、大変多くの勉強をさせていただいた。現地研修で学んだことをどのような形にして、子どもたちに還元するか、学年、教科、アクティビティ等、様々な視点で、皆さんと考察できたことも、貴重な体験となった。出来た指導案や資料を、今後も子どもたちに合わせて手を加えながら、大事に使っていきたい。皆さま、心よりお礼申し上げます。
--------------------	--

スリランカ

どうぶつクイズ



かくれているどうぶつ
なーんだ!?

レベル1

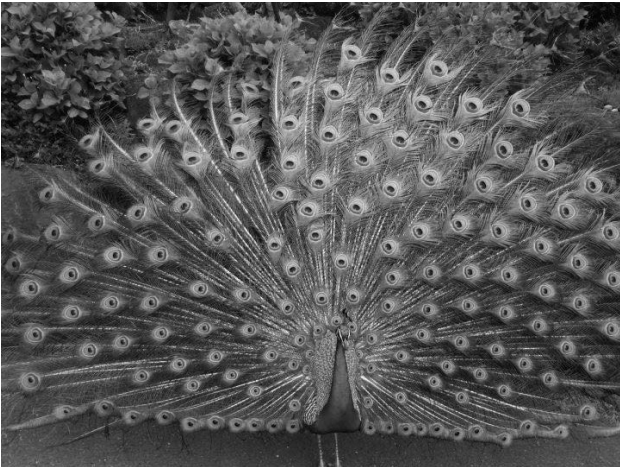


レベル2



レベル 3

ここからは、
3たく
じゃないよ!



レベル 4

スリランカにあった
どうろのひょうしき なーんだ?

①



②



③



スリランカ

どうぶつクイズ

おしまい！



よくできました！

パチパチ・・・・・・・・！

スリランカのカウステイガーくんの1日

なまえ()



カウステイガーくんは、8さいの男の子です。下にもうとが3人いて、6人かぞくです。みんな、なかよくげん気にくらししています。小学校では、クラスのみんなといっしょにべんきょうしたり、あそんだりしています。カレーライスは、スリランカでも、よくたべられているメニューです。

★じぶんたちのせいかつと「にている」ところに口、「にいてない」ところに○をかきましょう。

①カウステイガーくんのおうち



ちよつと気になること

②キャライマガル小学校



ちよつと気になること

③カウステイガーくんのうちのカレーライス



ちよつと気になること

ふりがえり